

平成27年2月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者12名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	<p>1 漁業の復興について</p> <p>2 水産加工業団地について</p> <p>3 中小企業グループ補助金について</p> <p>4 閑上に放置されている石碑について</p>	<p style="text-align: right;">7番 佐藤 正博</p> <p>(1) 閑上漁港と漁業の発展のため、漁業者が魚種の拡大を図れるよう支援すべき。 (2) 水揚げ量をふやすため、県内外から漁船が入港できるようにすべき。 (3) 冷蔵庫や漁具倉庫などの港湾施設の拡充を図るべき。</p> <p>(1) 進出希望者公募の結果を伺う。 (2) 時期は未定だが進出を希望する業者の誘致を早急に図るべき。</p> <p>(1) 補助対象となる中小企業グループはいくつあると捉えているのか。 (2) 円滑な申請に向けて支援すべき。</p> <p>(1) 日和山斜面に放置されている忠魂碑、英霊碑、震災しょう記念碑を建て直すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
2	<p>1 観光のまちづくりについて</p>	<p style="text-align: right;">9番 山田 司郎</p> <p>(1) 観光資源開発事業調査業務の調査結果を踏まえ、観光戦略及び実施計画に基づく観光のまちづくりを進めるべき。 (2) 無料W i - F i の設置促進など、外国人旅行者の受け入れ環境整備に努めるべき。 (3) 消費税免税店の拡大に向けた支援策を講じるべき。 (4) 東京オリンピック開催に向け、「文化プログラム」の誘致を図るべき。 (5) 本市の観光資源を活用した滞在交流型観光の掘り起こしや、広域観光ルートづくりに努めるべき。 (6) 市内の観光資源同士を結ぶアクセスルートを確立すべき。自転車やなとりん号の活用を図るべき。 (7) テーマや移動手段別に周遊コースを設定して、スタンプラリーを実施してはどうか。 (8) 観光資源の美化整備活動「クリーンプロジェクト」を推進すべき。学校教育の一環で、児童生徒に活動参加の機会を与えるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 教育長 市 長</p> <p>市 長 教育長 市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p>	
3	<p>1 愛島塩手地内における東北電力の高圧変電所建設計画について</p>	<p style="text-align: right;">1 2番 小野寺美穂</p> <p>(1) 建設予定地、規模、詳細計画図等を把握しているのか。 (2) 少なくない影響を与えると想定される施設建設について詳細を明らかにすべき。 (3) 愛の杜、愛島郷等の新興団地を含め周辺地域住民に詳細を説明すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	2 広報なとり 平成26年12月1 日号の市長コラ ム 粹庵「マッ カーサーの言 葉」について	<p>(1)引用文の出所はどこか、翻訳者は誰か。</p> <p>(2)公的な立場にある市長が広報を使って、320ページある原文のインターネット上の一引用文を掲載するに当たっての責任はどう考えているのか。</p> <p>(3)史実の捉え方として議論のある内容のものを全部認めるような形での引用は問題ではないか。情報提供などで済まされる問題ではない。自虐史観、憲法押しつけ論、戦争ができない国などの表現は、憲法第99条に違反している。</p> <p>(4)当時のGHQ最高司令官とはいえ、これは私見として取り扱われているものである。アメリカの公文書でもない。その原文全体の趣旨を「中国によって共産主義を拡大させてしまったことへの反省です。」などと、軽々に発言するのは問題ではないか。</p> <p>(5)市民からこのコラムに対しての意見等が寄せられているはずだが、どう対応しているのか。</p> <p>(6)議会に対する説明の折、まちづくりを考えたとき、故郷を愛するということは、日本の国を愛するということであり、その日本という国が間違ったことをしたというようなことでいいのか、という旨の発言があったが、そういう自虐史観的愛国心を持っているという理解でいいのか。それを広報紙を使って披瀝するのは問題ではないか。</p> <p>(7)復興も進まない中、震災から4年を迎えようとしている年の瀬に、なぜこのような内容のものを載せようと思ったのか。</p> <p>(8)市民に対して説明責任を果たすべき。</p>	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
4	1 屋外簡易広 告物の実態につ いて 2 復興工事関 連車両増加に伴 う高館地域への 影響について	<p style="text-align: right;">8番 長南 良彦</p> <p>(1)市内各地区の官地や公共物に各種団体等の立て看板や広告幕、のぼり旗等が設置されている。件数、場所等について実態をどのように捉えているのか。</p> <p>(2)禁止簡易広告物の実態を把握し、安全性確保と地域の美観向上に努めるべき。</p> <p>(3)禁止物件について早期に実態を把握し指導勧告すべき。</p> <p>(4)既設の無許可簡易広告物について、各種団体等との協力連携を図り改善に努めるべき。</p> <p>(5)名取市道路占用料条例の遵守徹底を図り、財源確保に努めるべき。</p> <p>(1)復興工事関連車両の運搬経路である高館地内の交通渋滞・環境対策についてどのように取り組んでいるのか。</p> <p>(2)運搬経路沿線住民に対する閑上地区復興工事の現場見学会を実施し、住民理解を深めるべき。</p> <p>(3)高館地内の下水道工事計画に与える影響と今後の進め方について伺う。</p>	市 長 市 長 市 長 消 防 長 市 長 消 防 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
5	1 マイナンバー制度について	3番 小野 泰弘 (1)平成28年1月の個人番号利用開始に対応するための準備はどこまで進んでいるのか。 (2)個人番号が漏えいして不正に用いられるおそれがあると認められる場合、個人番号の変更が可能とされている。どのような場合を想定し、どのような変更手続で行うのか。 (3)住民基本台帳カードの普及が進まなかったことを踏まえ、個人番号カードの普及促進のため、市民への制度の説明・周知に努めるべき。 (4)市民に利便性の高いサービスを提供するため、マイナンバーを使って本市独自の利用を図るべき。	市長 市長 市長 市長	
6	1 健康診断について 2 タブレット端末の導入について 3 学校施設の耐震化について	10番 菊地 忍 (1)神奈川県大和市では、子育てで多忙な市民に健康の状況を確認してもらうため、1歳6カ月児の歯科健診に訪れた両親を対象に無料での血液検査を平成27年度から開始する。本市でも実施すべきと考えるがどうか。 (2)コンビニエンスストアと連携し、住民が買い物ついでに健康診断を受け、自分の健康状態を把握する取り組みが進められている。本市でも実施すべきと考えるがどうか。 (1)全国の自治体にて職員へのタブレット端末配付が進んでいる。業務の効率化やペーパーレス化を図るため、本市でも取り組むべきと考えるがどうか。 (2)国は2020年までに全小中学生に1人1台のタブレット端末を整備する目標を掲げている。本市でも計画的に進めるべきと考えるがどうか。 (1)文部科学省より「学校施設における天井等落下防止対策の一層の推進について」の通知が出され、総点検と対策の実施が求められている。保護者等の不安を解消するためにも本市の取り組み状況を明らかにすべきと考えるがどうか。	市長 市長 市長 市長 教育長 教育長	
7	1 救急体制について	5番 及川 秀一 (1)市内全域と高館4団地の救急の事故別出場件数及び出場内容、搬送人員、搬送状況、事故の種別などについて、平成26年の状況について伺う。 (2)市内全域と高館4団地の119番通報による搬送時間及び搬送先について状況を伺う。 (3)初期救急体制で、到着後にかかりつけ医等における救急患者受け入れの搬送先病院の手配について、どのように判断して対応を行っているのかを伺う。(搬送プロトコールと患者搬送先の対応について)	消防長 消防長 消防長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 歩道の緑地帯整備について	<p>(4) 搬送先について患者の家族が要望する病院あるいは通院している病院を優先に、患者搬送の対応をすべき。</p> <p>(5) I Cカード型保険証の導入で患者情報による救急搬送の搬送時間を短縮する救急医療体制に取り組むべき。</p> <p>(1) 歩道の緑地帯整備並びに維持管理について考え方を伺う。</p> <p>(2) 歩道緑地帯管理について、町内会・自治会に対する奨励金を交付すべき。</p> <p>(3) 老人会などの各種団体を活用し、助成金交付による歩道緑化維持を推進すべき。</p>	<p>消防長</p> <p>市 長 消防長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
8	<p>1 やさしいまちづくりについて</p> <p>2 高齢者支援について</p> <p>3 切れ目のない子育て支援について</p>	<p style="text-align: center;">18番 星居 敬子</p> <p>(1) 各公共施設の駐車場に思いやり駐車場をもっとふやすべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 障がい者の方々が暮らしやすいまちづくりのために、パーキングパーミット制度の導入を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(1) 高齢者の暮らしの不安を除くための見守り訪問や電話訪問等に取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の生活上、困っている現状をどのように把握しているか。また、今後どう対応するのか。</p> <p>(3) 読み書きに支障がある人のために代読代筆支援サービスを行うべきと考えるがどうか。また、そのための人材の育成等に取り組むべき。</p> <p>(1) 今後取り組まれる地方創生の中で位置づけられた「子育て世代包括支援センター」について、どのように捉えているのか。</p> <p>(2) 特に産後ケア事業と産前産後サポート事業について、本市ではその問題点をどう捉え、今後どう取り組む考えなのか。</p> <p>(3) 所得の低い家庭や子供が多くいる家庭、シングルマザーやシングルファザーには金銭的支援として、例えばおむつ手当等、市独自の支援策を考えてはどうか。</p> <p>(4) ソフト・ハード両面からの産後ケアや産前産後サポートを含めた切れ目のない子育てしやすいまち名取を、どこよりも早く実現すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
9	1 障がい者施策について	<p style="text-align: center;">13番 丹野 政喜</p> <p>(1)第4期名取市障害福祉計画を策定中だが、この計画をより実効性のあるものとするためには、第3期計画の検証と分析のもとに策定されることが必要である。第4期計画策定に当たり、第3期計画で達成できなかった課題にどのように取り組んだのか。</p> <p>(2)名取市障がい者等地域づくり協議会からの意見提案は、第4期計画にどのように反映されているのか。</p> <p>(3)相談支援体制を充実するための見直しを図るべき。相談支援事業の現状と課題及び今後の対策は。</p> <p>(4)障害者グループホームに対するニーズの高まりに対応すべき。知的障害者グループホームの建設・開設に向けて市の支援策は。</p> <p>(5)グループホーム等への地域移行を進め、障がい者の自立を支援していくためには移行前に自活訓練事業との体験ステイが必要である。県の知的障害者グループホーム体験ステイ推進事業等を活用して展開すべき。</p> <p>(6)県は平成26年に不動産関係団体や社会福祉法人等で構成する宮城県居住支援協議会を立ち上げた。障がい者が安心して生活するためには、住まいに関する情報は欠かせない。市も加入し、名取市障がい者等地域づくり協議会を核とした相談支援事業と住まいの相談窓口とを連携させ、障がい者の安心な住まいの確保に努めるべき。</p>	市長 市長 市長 市長 市長 市長	
10	<p>1 宮城県の避難計画（原子力災害）作成ガイドラインについて</p> <p>2 安心できる介護制度について</p>	<p style="text-align: center;">6番 大沼 宗彦</p> <p>(1)避難計画作成に当たり、本市の意見聴取は行われたのか。また、受け入れ先としての本市の要望は、どのように反映されるのか明らかにすべき。</p> <p>(2)避難者受け入れ先としての本市の考え方を示すべき。</p> <p>(3)受け入れに際し、市民への情報伝達・広報に対する考え方を示すべき。</p> <p>(4)受け入れる側の条件整備や財源は、どのように考えているのか明らかにすべき。</p> <p>(1)介護報酬引き下げによる本市介護行政への影響について明らかにすべき。</p> <p>(2)介護施設入居待機者ゼロを目指す本市の対応策を示すべき。</p> <p>(3)居宅介護サービス、施設介護サービス、介護予防サービスのさらなる充実についての市の努力事項を明らかにすべき。</p> <p>(4)介護保険料の値上げをしない努力をすべき。</p>	市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	3 仮設住宅の 安心できる環境 について	(1)経年劣化が進む仮設住宅の維持管理の実態について示すべき。 (2)65歳以上のひとり暮らし、高齢者夫婦の健康維持・増進についての方針を示すべき。 (3)転居などでの空き部屋の活用を含め、今後の方針を示すべき。	市 長 市 長 市 長	
	4 行き届いた 教育の推進のため	(1)「子どもの最善の利益」（子どもの権利条約）遵守の立場で最近の不登校の実態と対策を示すべき。 (2)国際連合が是正を求めている「競争の激しい教育制度」の改善の視点で全国学力テストの実態と課題を示すべき。 (3)小中学生の不読率と図書の貸し出しの実態及び今後の課題について示すべき。 (4)小中学生の携帯電話やスマートフォンの使用の実態と遊びや交友関係の変化の問題点を検討すべき。	教育長 教育長 教育長 教育長	
1 1	1 関上地区災 害危険区域内の 土地利活用につ いて	17番 今野 栄希 (1)具体的な土地利用に向けた計画及び事業実施までのスケジュールはどのようになっているのか。 (2)マリンレジャー施設・震災メモリアル空間整備の実施目途はたっているのか。 (3)災害危険区域内にパークゴルフ場を整備すべき。	市 長 市 長 市 長	
	2 市民公園墓 地について	(1)震災の被災者向け市民墓地公園整備事業の進捗状況と今後の事業実施スケジュールについて伺う。 (2)一般の公営の市民墓地公園整備に向けた取り組みについて伺う。 (3)市民墓地公園等の整備に向け、周辺環境整備や運営方法の工夫、本市独自の新たな視点を取り入れるべき。	市 長 市 長 市 長	
	3 手倉田諏訪 住宅跡地の利活 用について	(1)跡地利用の考え方を伺う。 (2)地域の集会所を併設した防災公園として整備すべき。	市 長 市 長	
	4 生活困窮者 に対する自立支 援や学習支援に ついて	(1)本年4月から施行される、生活困窮者自立支援法に向け、生活困窮者の自立相談についてどのような体制で望むのか明示願いたい。 (2)さまざまな課題を抱える生活困窮者の自立支援に向け、早期把握や早期の支援が必要と考えるがどうか。また、的確な支援を行っていくために、市以外の関係機関との連携（ネットワーク）を結ぶべき。 (3)子どもの貧困対策についての計画策定が各都道府県の努力義務とされているが、本市については今後子どもの貧困対策に関してどのような施策を実施していくのか明示願いたい。 (4)市独自の支援の充実を図るべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	<p>5 障がい者の生活援助施設（グループホーム）の支援について</p> <p>6 災害時の避難勧告や防災行動計画について</p>	<p>(5) ニーズを十分把握した上で、生活困窮家庭の子どもに対する学習支援事業を積極的に展開すべき。</p> <p>(1) グループホームの設置について平成24年2月定例会で「障害福祉サービス事業者と連携を図りながら努めてまいりたい」と、さらに平成25年6月定例会では「地域の中で住み続けられる共同生活ができる施設整備に向けて努力してまいりたい」と答弁しているが、障害福祉計画の見直しを進めている現時点での所感、進捗状況を明示願いたい。</p> <p>(2) 現時点でのグループホーム利用希望者の人数を明示願いたい。</p> <p>(3) 社会福祉施設整備事業補助金交付要綱を制定すべき。</p> <p>(4) 障害者グループホーム設置（建設費、改修費、設備整備等）及び事業運営（夜間体制、重度加算等）に係る補助金を交付すべき。</p> <p>(5) 障害者グループホーム入居者に係る補助金を交付すべき。</p> <p>(1) 住民に避難に関する情報を確実に伝えるために、できるだけ多くの情報伝達の方法を整備しておくことや、災害発生が予測される場合に住民みずからが情報をとりにいくという意識を持つよう普段から広報・啓発を行うべき。</p> <p>(2) 本市において、台風や遠地津波など、あらかじめ発生が予測できる大規模災害について、市やその他の関係機関の役割や対応を決め、時間を追って整理しておくことは、減災の実現・災害の回避に、非常に有効と考える。こういった観点から事前防災行動計画「タイムライン」の策定を行うべき。</p> <p>(3) 早めに避難勧告を出すことは非常に重要であり、発令する人の感覚によって勧告を出すタイミングが左右されないよう、あらかじめ市が避難勧告を発令する数値基準をつくり、住民へ公表すべき。</p> <p>(4) 洪水（浸水）予測や避難所、避難経路だけでなく、大雨・土砂災害等を想定した計画を策定すべき。</p>	<p>教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	
12	1 配慮ある文書表現の取り組みについて	<p style="text-align: center;">2番 大友 康信</p> <p>(1) 仙台市では「自殺」の言葉を含む法律の引用などを除き、全ての公文書や広報文を対象に「自死」に言いかえるガイドラインを示し、既に全庁で運用を始めている。本市の方針と取り組み研究について明示願いたい。</p> <p>(2) 本市でも遺族への偏見や差別をなくすため、ガイドラインを策定し速やかに運用を開始すべき。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 子供と取り 組む予防救急に ついて	(1)学校において消防隊による講習や授業はどのよう に行われているのか。内容と回数を明示願いたい。 (2)小学校高学年以上の児童生徒を対象にした予防救 急の授業や講習を実施すべき。	教育長 消防長 教育長 消防長	
	3 救急搬送体 制について	(1)救急搬送時間短縮のための対策をどう講じている のか。 (2)医療現場と行政、消防救急の連携連絡網を構築し て救急搬送体制の強化を図るべき。	消防長 市 長 消防長	